

八王子国際フレンドからのメッセージ



韓国

留学生 朴 政泰（パク ジョンテ）

平成17年4月

皆さんこんにちは。お久しぶりです。先日は福岡で地震がありましたね。友人の一人も福岡が実家なので、連絡してみましたが通じませんでした。その友人は同じ大学の同級生ですが、今学校が春休みなので実家に帰ったかもしれないと思います。友人も彼の福岡の実家も無事であればいいですが。今度の地震で韓国も被害があったそうです。韓国は地震がほとんどありません。僕も韓国で地震を経験したことがないです。ですので、初めて日本で地震を体験した時は、このまま死ぬのかなあと思いました。今考えると少し恥ずかしい話です。



今日は朝鮮戦争や南北分断について少し話したいと思います。先日ある高校に行ってきました。国際政治を担当している学校の先生から頼まれて、高校生たちに韓国のことや留学生として日本で感じたことなどを紹介するためでした。400名ぐらいの高校生の前で発表するのは、少し勇気がいることでしたね。その場で朝鮮戦争について話しました。高校生の前で韓国について話せるせっかくのチャンスでしたので、キムチや焼肉、韓国の芸能界以外のことを話したいと思って、あえて少し重い話をしました。そうすることでもっと韓国のことを分かってもらえるかなあと思ったからです。

同じ民族でありながら二つの国に分断され、さらに1950年から3年間の朝鮮戦争で人口の6分の1にも上る人的被害を出したことや、今なお1000万人の家族が南北に分かれて会えない状態が続いていることなどを話しました。また、朝鮮戦争が終わった際に終戦協定ではなく休戦協定が結ばれたので、いつ戦争が再び起こるかもしれないこと、南北朝鮮合わせて160万の兵力が軍事境界線を挟んで対置していることなども話しました。日本の高校生たちが韓国のことを意外にも真剣に聞いてくれてよかったなあと思います。

恥ずかしいことですが、僕も今回の発表で自国韓国のことを改めて考えるようになりました。と言いますのは、日本人の皆さんが地震を当たり前のよう考えるのと同じく、僕自身も朝鮮半島の分断を当たり前のよう考えていたのかもしれないからです。軍事境界線の韓国側の鉄条網では、兵士たちが、北からの侵入者によって鉄条網が破れたのではないかと点検します。その先が非武装地帯(DMZ)で、5から20キロメートルの幅を持っています。そのさらに向こうが北朝鮮の軍事境界線です。DMZの中には、名前通りどちらも兵力を展開してはいけません。皮肉なことに、この非武装地帯には民間人の出入りが厳禁されているがために、今は珍しい動物の天国になっています。最近は南北朝鮮の協力ムードで少し

緊張が解けたと言われていますが、だからといって戦争の危険性がなくなったわけではないと思います。早く朝鮮半島の統一が実現されることを願うばかりです。

次回は日本での面白い体験などを紹介したいと思います。では皆さん、さようなら。

